

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
1	25	すこやか・ともしびまつり	「健康でふれあいのあるまちづくり」の実現のため、福祉施設や団体の活動紹介や作品・成果発表、参加体験コーナー等の実施を通し、広く市民に福祉と健康づくりの理解を呼びかけるイベントを開催	福祉総務課	【実績】 ・実行委員会にて実施 ・9月14日（土）、15日（日）実施 ・来場者数 約10,000人 ・参加団体数 47団体 【評価】 ・合計47団体の参加により、活動紹介や体験コーナー等のさまざまな催し物を通して幅広い層の関心を集めることができ、より多くの人の福祉意識を啓発できた。 ・「すこともWEB美術館」では新たに4事業所を追加公開、36事業所を更新し、合計66事業所を掲載したことで、引き続き市民が福祉に触れるきっかけ作りに寄与することができた。 ・今後は、新規来場者を増やすために事前周知方法を工夫する。
				社会福祉協議会	
2	25	ともしび運動ポスター展	小学3年生から中学生を対象に「ともしび運動」に関するポスターを募集 入賞作品はコミュニティセンターや学校等に巡回展示するとともに、ともしび運動リーフレットやポスターに活用	福祉総務課	【実績】 ・H19年度から支所地域にも募集 ・応募点数 小学生735点、中学生5点 ・学校やコミュニティセンター等8か所で入賞作品の巡回展示を行う。 【評価】 ・学校からの要望により募集期間を延長したこともあってか昨年度より応募点数が100点以上増加し、合計740点の応募があった。 ・今後も工夫してより多くの学校に取り組んでもらうことで、児童・生徒の福祉に対する理解と関心を高める。
				社会福祉協議会	

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
3	25	ともしび運動リーフレット・ポスター作成	「ともに生きる社会」の啓発広報としてリーフレット及びポスターを作成・配布	福祉総務課	【実績】 ・リーフレット 7,900枚 ・ポスター 370枚 作成・配布 【評価】 ・市関係機関、学校、企業等に配布し、ともしび運動の普及・啓発に活用した。 ・小学校への福祉読本使用状況等調査において、約9割の小学校がリーフレットを使用していることがわかった。 ・今後は、調査結果をもとに次年度のリーフレットの内容・配布方法等を検討する。
				社会福祉協議会	
4	25	障害者理解促進講座	障害のある人に対する理解を深め、ともに生きる地域づくりを進めるための講座等を開催	福祉課	【実績】 ・障害者理解促進講座 6回開催 132名 【評価】 ・地域共生社会の実現に向けて、各地域の関係機関と連携しながら、地域住民や民間企業への障害者理解の普及・啓発を促進できた。 ・今後も継続実施していく。
5	27	家庭教育活動事業	幼児から小学生の保護者を対象に開設する家庭教育講座の中で、福祉についてのテーマに取り組む	保育課	【実績】 ・補助対象園 38園 (54回) 【評価】 ・「子どもとの関わり」や「親子のふれあい」をテーマとした講座を受講した保護者からは、子どもとの普段の接し方だけでなく家族とのかかわり方についても勉強になったという声が聞かれた。 ・今後も、より多くの家庭で家庭教育の資質の向上を図ることができるように支援していく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
6	27	福祉読本の作成配付	児童の福祉に対する理解を深めるために、 小学3年生を対象とした福祉読本を作成・配布	福祉総務課 社会福祉協議会	【実績】 ・教師用 400冊 ・児童用 2,400冊 作成・配布 ・平成28年に全面改訂を行い配布した。 【評価】 ・約9割の小学校が活用しており、児童が福祉に対する理解を深めるきっかけとなった。 ・令和6年度も冊子として配布したが、教育現場の声を聞きながら電子データ化等についても検討する。
7	27	長岡市社会福祉協力校指定事業	小・中・高等学校及び特別支援学校を対象に体験学習の機会を提供することにより、福祉に対する理解と関心を高める	社会福祉協議会	【実績】 ・小学校…55校 ・中学校…28校 ・特別支援学校…4校 ・高等学校…12校 ・高等専門学校…1校 ・壁新聞を年6回、実践集録を年1回発行した。 【評価】 ・各校では、学校や地域の実態に即して福祉施設訪問や地域・学校の美化活動、世代間交流など、様々な福祉教育に取り組んだ。児童生徒の発達段階に応じた意図的で計画的な福祉教育を実践することで、「おもいやりの心」が醸成されるとともに、「ともに生きる社会」の実現に向けた資質形成にもつながった。 ・引き続き、指定校の取組を支援していく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
8	27	福祉教育ライブラリー整備事業	特別支援教育や療育等福祉教育に関する書籍・ビデオ等を教育センターライブラリーに整備し、有効活用	学校教育課	【実績】（貸出状況） ・視聴覚教材：DVD28本整備 貸出1件 ・書籍：649冊整備 貸出73件 【評価】 ・特別支援教育や福祉教育に関するDVD教材及び書籍を整備するとともに、それらの利活用について広報を行い、教職員等に貸し出すなど有効活用を図った。 ・今後もニーズに合った教材・書籍を計画的に整備していく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事 業 名	事 業 概 要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
9	29	相談サービスの充実	委託相談支援事業所、指定特定相談支援事業所による相談の充実	福祉課	【実績】 ・ 障害者相談支援事業所 5箇所 (相談支援専門員 11人、サポート職員 7人) 【評価】 ・ 障害者相談支援事業として約12,000件の相談対応を行った。病院等からの地域移行や触法ケースなど、困難ケースの相談は引き続き増加する見込みである。 ・ 今後も、市全体の相談支援体制の充実に向けた体制整備を図っていく。
			障害者基幹相談支援センターによる人材育成・相談支援専門員等へのサポート		【実績】 ・ 相談支援研修会 2回開催 ・ 事例検討会 5回開催 ・ 気軽な勉強会 4回開催 ・ 相談支援専門員等へのサポート428回実施 【評価】 ・ 相談支援従事者のキャリアパスに基づいた研修会及び発言しやすい環境での勉強会を開催した。そのほか、対応困難事例に関わっている相談支援専門員等のサポートを行った。 ・ 今後も、多様化・複雑化する相談ニーズに的確に対応できるよう人材育成やサポートを行う。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
			「長岡市障害者自立支援協議会」の積極的な活用（相談支援体制の検証・検討）		【実績】 ○長岡市障害者自立支援協議会 全体会 2回開催 運営会議 2回開催 相談体制部会 3回開催 委託相談支援会議 6回開催 計画相談支援会議 6回開催 相談支援ミーティング 5回開催 就労部会 8回開催 地域づくり部会 6回開催 サービス受け皿検討部会 7回開催 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム協議の場 6回開催 【評価】 ・相談体制部会の再編を行い、指定特定相談支援事業所、委託相談支援事業所、基幹相談支援センターの3層が連携し、課題の把握や課題に向けた取り組みを検討している。 ・今後は、より各層の連携を密にし、長岡市の相談支援体制について検討や評価を行う。
10	29	福祉窓口の充実	手続・申請内容の拡充	福祉課	【実績】 ・R6年4月約360メニュー 【評価】 ・対応業務数及び対応件数は年々増加傾向にある。各種業務の制度拡充や多様化する状況等に合わせて体制を整えている。 ・今後も高齢者・障害者・外国人等のニーズに対応した窓口対応の向上や体制整備を行う。
11	31	地域生活支援拠点等事業	在宅で生活する障害者が、登録制により24時間365日相談できる相談先（コーディネーター）と緊急時でも利用できる短期入所事業所を確保するなどの事業	福祉課	【実績】 ・登録者数：11人 【評価】 ・令和5年12月事業開始し、体制を整備した。 ・今後は、引き続き利用登録の増加を目指し、地域で安心して生活できる体制整備を進めていく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
12	31	介護福祉士実務者研修受講料補助金	市内の福祉事業所勤務者の積極的な資格取得とスキルアップを促進し、人材確保及び介護の質の維持・向上を図るため、研修受講料を補助	福祉総務課	【実績】 ・補助対象者51人、総補助額2,316,000円 【評価】 ・介護及び障害福祉事業所勤務者の資格取得とスキルアップを支援し、人材確保及び介護の質の維持・向上を図った。 ・今後は、障害福祉事業所勤務者からの申請が少ないため、障害福祉事業所への補助金制度の周知に務める。
13	36	地域福祉・在宅福祉サービス事業（ボランティア銀行）	軽易な家事援助等のサービスを必要とする人を「利用会員」、サービスを提供する人を「協力会員」として活動する住民相互の助け合いの事業	社会福祉協議会	【実績】 ・実利用者数：331人、総利用回数：1,345回 【評価】 ・今年度、料金体形の見直しや地区外支援の導入等、多世代の住民が利用しやすいよう事業改正を行った。 ・令和7年度より、福祉送迎サービス事業と統合し、さらに利用しやすく、担い手の人材確保につながるよう努めていく。
14	36	福祉送迎サービス事業	単独での移動が困難な高齢者や障害のある人等を対象に、医療機関へ自家用車による通院送迎を行う事業	社会福祉協議会	【実績】 ・延べ利用者数：1,506人、総利用回数：1,493回 【評価】 ・安全運転講習会の開催等、協力会員の安全運転の啓発をしながら、医療機関への送迎活動を行った。 ・令和7年度より、ボランティア銀行と統合し、さらに利用しやすく、担い手の人材確保につながるよう努めていく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事 業 名	事 業 概 要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
15	36	小地域ネットワーク活動	おおむね75歳以上のひとり暮らし高齢者等で援助が必要と思われる人に対し、地域内の住民による定期的な訪問、声かけ等で見守りを行う活動	社会福祉協議会	【実績】 - 対象世帯数：547世帯、構成員数：352世帯 【評価】 - 定期的な訪問や声かけにより、安心して暮らすことのできる地域づくりに寄与することができた。 - 災害時でも同事業の見守り体制が活用されるよう、地域福祉懇談会や各種研修等を通じて、引き続き地区に意識啓発していく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
16	38	ボランティア大学 ・基礎講座 ・コミュニケーション講座 ・初心者講座	ボランティア活動への意識啓発及び基礎的知識、技能の習得並びに、市民の意識高揚の推進	社会福祉協議会	【実績】 ○基礎講座 開催回数11回、参加者数17人 ・うち公開講座 開催回数1回、227人 ○コミュニケーション講座 開催回数3回、参加者数17人 ○初心者（フォローアップ）講座 開催回数26回、参加者数23人（内訳） ・点訳：8回、参加者数2人 ・要約筆記：4回、参加者数2人 ・音声訳：8回、参加者数6人 ・手話：6回、参加者数12人 【評価】 ・様々な角度からボランティア活動の基礎的な知識、技能を学ぶことで、福祉ボランティアに対する理解、実践力が深まるとともに、活動の幅が広がった。 ・引き続き、ボランティアの人材育成と意識啓発を行っていく。
17	38	運転ボランティアの参加啓発活動	福祉に貢献したい人たちに幅広い活動への意識醸成を図り、運転ボランティアにも目を向けてもらうための啓発を推進	福祉課 社会福祉協議会	【実績】 ・利用件数：467件 【評価】 ・重度身体障害者の社会参加促進や通院時の交通費の負担軽減が図られた。 ・運転ボランティアの高齢化に伴い、運転ボランティアの確保が課題であるため、引き続きボランティアの意識啓発を行っていく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
18	38	ボランティアセンターの運営	総合的なボランティア情報の収集に努め、積極的に発信することで、ボランティアのマッチングを推進	福祉総務課	【実績】 ・相談件数：766件 【評価】 ・ボランティア推進に関する情報収集と蓄積に努め、幅広い分野の情報提供と専門性の高い相談に対応した。 ・今後も、情報の受発信を強化していく。
				社会福祉協議会	
			ボランティアに関する教育・研修を実施し、ボランティアに携わる人材の育成や市民の意識醸成を推進	福祉総務課	【実績】 ○すこやか・ともしびまつりブース出展（おもちゃドクター体験講座、eスポーツ体験会） 開催日数：2日、280人 ○青少年ボランティア体験講座 開催回数：13回、延べ136名 ○ボランティアトークカフェ 開催日数：1回、28人 【評価】 ・幅広い世代の方々がボランティアに触れるきっかけとなり、市民のボランティアによる自己実現や社会参加の意欲が高まった。 ・引き続き、ボランティアの人材育成と意識啓発を行っていく。
				社会福祉協議会	
19	40	意思疎通支援者の派遣	手話通訳の養成と手話・要約筆記通訳者等の派遣の実施	福祉課	【実績】 ・手話通訳 586件 ・要約筆記 1件 【評価】 ・聴覚障害者及び音声・言語機能障害者が、社会生活を営む上での意思伝達手段を確保できた。 ・聴覚障害者の意思疎通に必要な不可欠な事業のため、引き続き支援を行えるよう、手話通訳の養成にも努めていく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
20	40	手話通訳者の福祉窓口への配置	市役所における手話通訳者の常時配置	福祉課	【実績】 ・設置日数243日 来庁者数369人 【評価】 ・市役所での手続き支援のほか、日常生活上の相談も多い。引き続き、手話通訳員を配置して気軽に相談できる体制を継続する。
21	40	声の広報等発行事業	市政だより等の文書の概要を録音し、視覚障害のある人（希望者）に提供	福祉課	【実績】 ・障害者ハンドブック「ともに生きる」の音声コード化と音声訳データでの情報提供を実施。 ・声の市政だよりの送付を行った（R6送付対象者：58世帯）。 【評価】 ・利用者の利便性向上を図ることができた。 ・引き続き、音声による情報提供を図っていく。
22	40	点字広報等発行事業	市が発送する通知文等を点訳し、視覚障害のある人（希望者）に提供	福祉課	【実績】 ・市政だよりと同時に配布される文書について点訳を行い対象者に送付を行った（R6送付対象者：8世帯）。 【評価】 ・利用者の利便性向上を図ることができた。 ・引き続き、点字による情報提供を図っていく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
23	43	乳幼児健康診査事業	乳幼児期の各節目にすこやかな成長の確認と発達の遅れや障害の早期発見を図るとともに、基本的生活習慣の確立に向けて育児相談を実施し子育てを支援	こども家庭センター	【実績】 ・4か月児健診 1,269人 ・5～7か月児乳児健康相談 1,270人 ・10か月児健診 1,334人 ・1歳6か月児健診 1,432人 ・3歳児健診 1,583人 ・5歳児発達相談会 95人 【評価】 ・専門職による成長・発達確認を行い、生活リズムや食事等基本的生活習慣の確立についてはパンフレット等を用いて相談・指導を行った。 ・今後も健診の機会を通して確認・支援していく必要がある。 ・「5歳児発達相談会」では、専門職による面談により安心感につながっているほか、就学相談など就学後へ向けた支援につなげている。
24	43	健康診査事業及び後期高齢者健康診査事業	19～39歳及び後期高齢者を対象に、生活習慣病の早期発見を目指した健康診査を実施し、循環器疾患や糖尿病等に起因する障害状態になることを予防	健康増進課	【実績】 ・健康診査 (19～39歳及び生活保護被保護者) 受診者数1,457人(前年度比△8人) 受診率9.6%(前年度比+0.3%) ・後期高齢者健診 (後期高齢者医療制度加入者) 受診者数14,316人(前年度比+1,001人) 受診率32.2%(前年度比+1.4%) 【評価】 ・集団健診の土曜日実施や保育サービスの提供、女性限定デーの設定など、受診しやすい体制の整備により、受診率は上昇した。 ・生活習慣病の予防や疾病の早期発見を図るため、受診率のさらなる向上が必要である。 ・今後も継続して啓発や受診しやすい環境の整備を行っていく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
25	43	特定健診・特定保健指導等事業	40歳から74歳の医療保険加入者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導等の事後指導に取り組み、糖尿病等生活習慣病の有病者・予備群の減少を目指し、疾病に起因する障害状態を予防	健康増進課	【実績】 ・特定健診（40～74歳国保加入者） 受診者数16,125人（前年度比＋408人） 受診率39.8％（前年度比＋2.7％） ・特定保健指導（40～74歳国保加入者）※1 動機付け支援 利用者数417人（前年度比△3人） 利用率45.7％（前年度比＋2.7％） 積極的支援 利用者数55人（前年度比＋5人） 利用率23.3％（前年度比＋2.2％） ※1 特定保健指導の実績は令和7年10月頃確定予定。上記は令和6年度末現在の実績となる。 （ ）は前年度末時点との比較 【評価】 ・（特定健診）個別通知発送や電話による受診勧奨の取り組みのほか、集団健診の土曜日実施や保育サービスの提供、女性限定デーの設定など、受診しやすい体制の整備により、受診率は上昇した。生活習慣病の予防や疾病の早期発見を図るため、受診率のさらなる向上が必要である。今後も継続した啓発や受診しやすい環境の整備を行っていく。 ・（特定保健指導）受診勧奨等の取り組みにより、利用率は増加する見込み。訪問による利用勧奨、初回面接分割実施及びオンライン特定保健指導を活用し、利用者のさらなる増加を目指す。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
26	45	精神障害者医療費助成	精神疾患の治療について、医療費自己負担の一部を助成	福祉課	【実績】 ・受給者数 3,835人 ・申請件数 39,967件 ・助成額 55,611千円 【評価】 ・受給者数は増加している。自立支援医療（精神通院）受給者への案内や市政だよりへの掲載による一定の効果もあったと考えられる。 ・引き続き制度周知を図り、今後も現行の制度を継続していく。
27	47	生活習慣病予防事業	健康診査の結果等により、健康管理上指導が必要と認められる人とその家族に対し、相談会や訪問等で保健指導を実施	健康増進課	【実績】 ・総合健康相談 開催回数84回 相談延人員530人 ・CKD・糖尿病性腎症等栄養指導 参加延人数224人 ・生活改善プログラム 参加延人数106人 ・訪問指導 訪問延人数1,184人 【評価】 ・健康相談では、健診結果や健康に関する悩み・心配ごとを解消できるよう相談に応じた。また必要時、医療機関や他の相談会、地区担当を紹介した。 ・CKD・糖尿病性腎症等栄養指導、生活改善プログラムでは、重症化リスクの高い対象者へ個別指導を実施し自己管理の質を高められるよう支援した。 ・訪問指導では、主に健診異常値放置者、特定保健指導未利用者、生活習慣病治療中断者、特定健診未受診者、糖尿病性腎症重症化予防該当者について、受診勧奨や生活習慣の改善ができるよう支援を行った。訪問延人数については、健診会場での特保初回面接分割実施の増加に伴い、前年度より減少した。 ・いずれの事業も対象者の生活に合わせ、行動変容につながるような保健指導を実施していく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
28	47	地域コミュニティ健康づくり事業	保健師の地区担当制により、地区の関係者・関係機関と連携を図り、市民が主体的に健康の保持増進が図れるよう、地域において健康講座、健康相談を実施	健康増進課	【実績】 - 健康増進課分 訪問延件数・・・693件 電話、来庁延件数・・・881件 - 地域における健康講座・健康相談 開催回数 125回 延べ参加人数 2,247人 【評価】 - 電話、来庁延件数は減少し、訪問延件数は増加した。地域包括支援センターや障害事業所等との連携が図られてきたことや、福祉課のひきこもり相談室設置により相談窓口が明確化し、電話や来庁による相談が減少したと考えられる。訪問については、健康増進課の重点項目である生活習慣病対策の訪問強化により増加したと考えられる。引き続き、各圏域で高齢、障害の各関係機関と連携協議を実施し、相談支援体制を強化していく。 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」の開始により、地域コミュニティ健康づくり事業の一部が移行した結果、健康講座・相談の実績が減少している。各地域の健康課題やニーズに沿った講座やイベントを企画し、参加者のさらなる増加を図り、幅広い年齢層の住民が主体的に健康づくりに取り組める仕組みづくりを推進していく。また、地区の健康情報を基にコミュニティセンターの関係者等と地区把握を行い、実情に合わせた健康講座を実施していく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
29	47	こころの健康づくり講演会・ こころの健康相談会	・ストレス、うつ、自殺予防等こころの健康づくりに関する講演会を開催 ・職場の人間関係や家族関係の悩み、アルコール依存など、こころの健康に関する個別相談会を実施	健康増進課	【実績】 ・こころの健康づくり講演会 参加者256人 ・来所・電話相談 延773件 ・こころの健康相談会 開催回数45回 相談延人数71人 【評価】 ・こころの講演会は、音楽と講話を組み合わせ、親しみやすい内容としたことで、参加者が昨年度より70名程度増加し、満足度は98%であった。今後は、長岡市の自殺対策の重点対象である働く世代にも届くような講演会とシンポジウムを開催する。 ・来所・電話相談、相談会の実施により、こころの不安や悩みの軽減、受診につながることができた。相談会は、夜間の開催が中止になることが多かったため、土曜日の実施を予定する。また、市のLINEでも周知していく。
30	50	こども発達相談室の充実	早期相談体制の充実、関係機関との連携	こども家庭センター	【実績】 ・相談延人数 1,670人 【評価】 ・経験豊富な臨床心理士等を配置したすこやか応援チームによる園、学校等へのアウトリーチ支援を行い、就学前後の切れ目のない支援に向けた有機的な連携体制を構築した。また、保護者面談等の機会を通じて、支援が必要な保護者への相談機会の確保につなげることができた。 ・就学相談申請ケースとの情報共有や連携を強化し、入学後の必要な支援体制や配慮がとれるようにした。 ・相談ケースの増加や複雑化に対応するための人員等体制確保が必要となるため、特に専門職や関係機関との連携が容易かつ早期にとれるよう柔軟な連携体制を構築する。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事 業 名	事 業 概 要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
31	50	療育体制の整備	長岡市障害者自立支援協議会及び長岡市 子ども・子育て会議の積極的な活用	福祉課	【実績】 ○長岡市障害者自立支援協議会 全体会 2回開催 運営会議 2回開催 相談体制部会 3回開催 委託相談支援会議 6回開催 計画相談支援会議 6回開催 相談支援ミーティング 5回開催 就労部会 8回開催 地域づくり部会 6回開催 サービス受け皿検討部会 7回開催 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 協議の場 6回開催 ○長岡市子ども・子育て会議 4回開催 【評価】 ・協議会や各会議の中で、福祉分野と子育て分野の 情報共有を実施したほか、療育も含めて適切な機関 や福祉サービスにつなげるための相談支援体制につ いて検討を行った。 ・今後も、体制整備を行う。
				こども家庭センター	
				子ども政策課	

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
32	50	特別な支援が必要な子どものサービスの充実	居宅介護、短期入所、日中一時支援事業、放課後サポート事業の利用促進	福祉課	【実績】 ・居宅介護、短期入所、日中一時支援事業は、「資料No.1-3」参照 ・放課後サポート事業は、「整理番号38」参照 【評価】 ・「ながおかこどもの発達ガイドブック」に掲載し、広く周知に努めた。また、総合支援学校における保護者向けサービス説明会へ参加し、各サービス内容について説明を行った。 ・子育て世帯への支援者不足や、養育者の就労を理由とした福祉サービス等の利用は一定のニーズがあるため、今後もサービスの周知及び供給体制の維持・向上に努める。
			児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援、障害児相談支援の利用促進	こども家庭センター	【実績】 ・障害児通所支援及び障害児相談支援給付費等対象者 延人数83,777人 【評価】 ・障害児通所支援事業に関するチラシの作成やホームページへの掲載、総合支援学校における保護者向けサービス説明会への参加等によりサービスの周知を図り、例年利用実績が増加している。 ・利用希望者は増加傾向にあり、今後も利用量・利用人数の増加が見込まれるため、必要な量に応じたサービス提供基盤の整備が必要となる。 ・引き続き適切なサービス提供に努めていく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
33	50	特別支援教育・保育事業費補助事業	保育園の入園を希望する特別な支援が必要な子どもの受け入れ体制の整備	保育課	【実績】 ・保育園、認定こども園に対して、下記①～⑤に該当する児童について、保育士等の加配に必要な人件費を補助 ①特別児童扶養手当支給対象児童：16人 ②軽度障害児（手帳・診断あり）：53人 ③気になる子（障害の疑い）：10人 ④児童発達支援事業利用児童：33人 ⑤市独自の個別状況調査により該当：86人 ※令和4年度から上記④・⑤を補助対象児童として追加した他、対象児童の受入に必要教材の購入費、要配慮児への対応力向上のための研修費を、補助対象経費として追加・拡充した。 【評価】 ・保育園、認定こども園への入園を希望する障害のある子の受入体制を充実することができた。 ・今後も、ニーズに応じてきめ細かに支援していく。
34	50	障害児保育の充実	保育園や認定こども園等における特別な支援が必要な子どもの受け入れの推進	保育課	【実績】 ・幼稚園への補助 0園 ※令和3年度まで学校法人立の認定こども園に対して国・県の私学助成の上乗せ補助として実施していたものを、令和4年度から上記「特別支援教育・保育事業」に移行したことで、補助対象施設である私立幼稚園が1園のみになった。 【評価】 ・唯一の補助対象施設が休園となり、今後の再開見込みが無いことから、令和6年度をもって廃止するもの。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
35	50	こどもすこやか応援事業	こどもすこやか応援チームにより、配慮を要する児童を早期に気づき、児童・保護者のニーズに応じた就学前から就学後まで一貫した相談・支援を実施	こども家庭センター	【実績】 - 支援児童数 計 642人 (内訳 就学前：557人、就学後：85人) - すこやかファイル（就学前児童） 新規所持者数 123件 年長児所持者数 116件 【評価】 - 今年度のアウトリーチ支援により、早期に特性に合わせた支援を検討できるようになった。今後も本人や支援の共通理解や連携を通して、支援体制の充実を図っていく。すこやかファイルは、使いたいタイミングで活用できるよう内容等を検討中である。
36	53	特別支援学級教育環境整備事業	特別な教育ニーズに合わせた設備の整備及び教室の改良	教育施設課	【実績】 - 小学校8校及び中学校1校実施 (特別支援教室施設設備改修等) 【評価】 - 特別支援学級等に必要な教育環境を整えることができた。 - 限られた予算で全てのニーズに応えるのは難しいが、今後も学校と協議のうえ施工内容を工夫しながら対応していきたい。
37	53	肢体不自由特別支援学級設置校の移動設備整備	肢体不自由児童・生徒のための設備の整備	教育総務課	【実績】 - 対象の児童や生徒がなく、階段昇降機の利用実績なし。 【評価】 - 市で階段昇降機を3台保有しており、必要時に点検や修繕等を行い、貸し出しの支援をする体制がある。 - 機材の劣化が進んでおり新規購入が必要になる可能性があるため、対象児童や生徒の有無について定期的に関係課と情報共有を行っていく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
38	53	長岡市立総合支援学校・高等 総合支援学校放課後サポート 事業	平日の授業終了後及び長期休業日に、総合支援学校の施設を利用して同校に在籍している児童・生徒の一時預かり	福祉課	【実績】 ・開設日数 225日 ・年間利用延べ人数 1,523人 【評価】 ・他サービスの充足により、登録者数及び年間利用延べ人数は減少傾向にある。また、委託先事業所の人員不足等もあり、受入れ人数が制限されたことも減少となった要因である。今後、事業のあり方を検討する必要がある。
39	56	障害者雇用促進事業	就労支援推進員が、施設・企業を訪問し、障害者一人ひとりの特性に合わせた企業とのマッチングを支援するとともに、企業に対して障害者雇用の促進を周知、啓発	人材・働き方政策課	【実績】 ・86社訪問 【評価】 ・ハローワーク長岡と連携しながら、求人のある企業を中心に訪問し、障害者の雇用に関する不安や疑問などを聞き取り、支援センターや特別支援学校につなげている。 ・引き続き訪問を行い、障害者雇用を促進していく。
40	56	長岡市障害者多数雇用事業者 からの物品等の調達制度	市が物品購入や役務の提供などを契約する場合、障害者多数雇用事業者として登録されている事業者から積極的に調達	人材・働き方政策課	【実績】 ・登録事業者数 7社 【評価】 ・今年度決算後に集計するため現時点での実績は不明。契約件数は年々増加しており、今年度も増加見込み。 ・今後も引き続き、障害者を多数雇用している事業者から積極的に役務を調達するよう努め、障害者雇用を促進していく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事 業 名	事 業 概 要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
41	56	障害者職場実習支援等就労促進事業	市役所福祉課内での職場体験実習の実施、企業実習支援のためのジョブサポーター（実習を受け入れた企業に出向き、直接指導を行う者）の派遣、その他職場体験実習終了者のフォローアップ、就労後の定着支援等を実施	福祉課	○市役所実習 【実績】 市役所実習を希望するもので以下のいずれかに該当するものを対象に実施 ・市内の就労支援施設利用者 ・市内に住所を有する障がい者就業・生活支援センター登録者（手帳を所持していない発達障害者を含む） ・長岡市立高等総合支援学校生徒 ・新潟県立長岡聾学校生徒 延べ実施日数405日、延べ利用者数37人 【評価】 ・一般企業等への就労を目指す障害者に、事務作業や職業生活で求められるルール、マナーを体験実習する場を長岡市役所福祉課内で提供し、職業能力及び社会性の向上を支援することができた。 ・今後も継続実施していく。 ○企業実習 【実績】 ・申込件数 8件 ・実利用者 8人 【評価】 ・実習受入企業にジョブサポーターを派遣し、企業の不安軽減と、障害者本人の課題の明確化や解決方法を一緒に考えることでスムーズな実習の実施につながった。また、企業が実習生1人につき1人の指導担当者を配置するケースも増えてきており、障害者が働きやすい環境づくりが進んでいる。 ・今後も継続実施していく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
42	56	障害者ワークステーション運営事業	障害者を市役所で1～3年間雇用し、その経験を活かして、一般企業等への就職を見据えたステップ・アップを目指す	福祉課	【実績】 - 令和6年11月に職員1名が一般企業に就職した。 【評価】 - 令和6年度は一般企業へ就職することができ、障害者雇用促進に助力することができた。また、古紙回収作業で庁舎内の各部署を訪れることにより、市職員の障害者に対する理解促進につながっている。 - 今後も継続実施していく。
43	58	パラスポーツ・レクリエーション講習会	パラスポーツ・レクリエーション活動の普及を図るため開催	福祉課	【実績】 6月2日に開催 - 参加者数 78人 【評価】 - ボッチャに限らず、複数のパラスポーツを体験できるイベントを実施。当日参加型とし、障害の有無に関わらず広く参加者を募り、障害者の社会参加と市民の障害理解を深めることができた。 - 参加者数を増やすための周知、広報の工夫が課題であり、今後も継続実施していく。
44	58	ふれ愛スポーツのつどい	障害のある人の社会参加と、市民の障害への理解促進を図るため、障害の有無にかかわらず誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションイベント「ふれ愛スポーツのつどい」を開催	福祉課	【実績】 7月10日(6人)、7月24日(17人)、10月14日(56人)に開催 - 参加者数 延べ79人 【評価】 - 令和6年度は新潟県ボッチャ大会と「ふれ愛スポーツのつどい」を同時開催としたため、他市町村の選手との交流も図られた。 - 参加者同士の交流が盛んになるような開催方法を工夫し、今後も継続実施していく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
45	58	テニススクール	障害のある人の身体機能の向上を図るため、テニスの教室を開催	福祉課	【実績】 ・10～11月の連続した週の水曜日に計5回開催 ・参加者数 17人（延べ人数79人） 【評価】 ・健康増進や社会参加の機会として、参加者及びその保護者からも好評である。 ・参加者が固定化しつつあるため、周知広報について検討が必要であり、今後も継続実施していく。
46	58	パラスポーツサークル育成事業	障害の有無に関わらず継続的にパラスポーツに参加できる環境や体制を整備するため、パラスポーツサークルの育成に取り組む	スポーツ振興課	【実績】 ○ボッチャ定期教室事業 講師：寺泊総合型スポーツクラブてらスポ！ 実施回数：全8回 【評価】 ・年齢や性別、障害の有無にかかわらず、誰もが楽しめるボッチャを継続的に楽しめる環境整備を進めることができた。 ・課題として、認知度の低さが挙げられる。より多くの人に参加してもらうため、周知活動に力を入れていきたい。
47	63	市有施設の新設整備	建築設計基準に基づいた障害のある人や高齢者に配慮した市有施設の整備	各課施設	【実績・評価】 ・施設の設計時に配慮して整備しており、今後も継続していく。
48	63	既存市有施設の改善	優先度が高い箇所から順次バリアフリー化に取り組む	各課施設	【実績・評価】 ・施設の設計時に配慮して整備しており、今後も継続していく。
49	63	町内公民館の施設改造費の補助	町内会が障害のある人や高齢者の利用を考慮して行う既存の公民館、集会所の機能・設備の改造に要する経費の一部補助	市民協働課	【実績】 ・町内公民館のトイレの洋式化等に要する経費の一部補助を行った。 R6年度交付件数 0件 【評価】 ・令和6年度は補助該当の町内公民館がなかった。 ・町内会支援のため、当該補助事業は継続していく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
50	63	公園の新設整備 既存公園の改善	障害のある人の利用に配慮した公園の新設整備 障害のある人への配慮が不十分な既存公園を更新計画時に併せて改善	都市施設整備課	【実績】 ・悠久山公園内のトイレ1か所を改修した。 【評価】 ・公園を利用する市民の利便性が向上した。 ・財源の確保に課題があるが、国の交付金等を活用し、引続き障害のある人も利用しやすい公園への改善に努める。
51	64	住宅改造費の補助	個々の障害に対応した住宅の改造費補助	福祉課	【実績】 ・福祉課 住宅改造費助成件数1件 ・介護保険課 住宅改造費助成件数24件 【評価】 ・障害者及び高齢者の自立を支援することができた。 ・快適で安全な生活環境の改善を目的として引き続き実施していく。
				介護保険課	
52	67	バス停上屋の整備	公共公益施設等の周辺や乗り継ぎ拠点などの利用者の多いバス停の上屋整備 バス停の快適性、安全性を向上させるための上屋等の整備促進	都市政策課交通政策室	【実績】 ・上屋設置補助金交付件数1件 【評価】 ・申請のあった1箇所に対して補助金を交付し、バス待ち環境の改善を図った。 ・地域団体等が整備しているバス停上屋の老朽化が課題である。今後は、(株)ファミリーマートの店舗内スペースをバス待ちスペースとして活用を始めたことにより、活用状況を踏まえて他のコンビニエンスストアなどバス停が近くにある店舗、事業者への拡大を図る。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
53	67	環状バスの運行	利用者の多い公共施設等と駅を結ぶ環状バスの運行	都市政策課交通政策室	【実績】 - 中央環状バス 内回り11便、外回り10便運行 - 宮内環状線 宮内環状線 内回り3便 外回り3便 ※土・日・祝日等は2便運行 【評価】 - 中央環状バスについては、病院や商業施設等の利用者の利便性が向上した。 - 利用者の減少に伴い、運行の見直しが必要であり、今後は、利用状況調査等によりニーズを把握し、来年度は運転士不足対策として、他路線との重複を精査したうえで便数の見直しを行う予定。
54	67	バス車両の改善	障害のある人、高齢者等が利用しやすいバス車両の導入促進	都市政策課交通政策室	【実績】 - 低床バス導入台数6台（内、新車1台、中古車5台 新車1台については、市が補助している。） - R6年度末：長岡駅乗入台数160台中139台が低床バス（86.9%） 【評価】 「長岡市交通バリアフリー基本構想」に基づき、長岡駅乗入台数の20～25%を低床化バスとするバリアフリー化整備目標が既に達成され、さらに増加している。 - 古い車両の入替えが必要であるが、物価高騰等の影響により思うように進んでいない。補助金交付要綱にリース車両を補助対象に加えた改正を行ったことにより、今後もバスの導入促進を図っていく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
55	67	歩行者優先道路の整備	障害のある人、高齢者等にやさしい道路として、車の進入を規制し、カラー舗装やベンチ、植栽等を整備した歩行者優先道路の整備	土木政策調整課	【実績】 ・悠久山自転車歩行者専用道整備 L=0.9km W=4.0～9.0m 植栽 休憩施設 令和3年度事業完了 【評価】 ・自動車との交通分離により、自転車・歩行者の安全が確保された。快適な歩行空間の整備により、市民の健康増進に寄与した。 ・今後も事故の発生状況等から歩行者優先道路の整備の必要性を検討し、必要に応じて整備していく。
56	67	バリアフリー化した歩道整備	障害のある人、高齢者等歩行者の安全確保を図るためのネットワーク化した歩道整備	土木政策調整課	【実績】 ・バリアフリー歩行空間ネットワーク歩道整備 (長岡駅周辺地区) L=8.5km 平成22年度完了 【評価】 ・長岡駅から周辺の主要施設に至る歩道のバリアフリー整備が完了し、ネットワーク化した安全な歩行空間が確保された。 ・今後も継続して、歩道整備や歩道の大規模改修時に合わせて、基準に適合するよう整備をすすめる。
57	70	避難支援プランの推進	避難行動要支援者避難支援プランに基づく個々の避難行動要支援者に対する具体的な支援体制の推進 ・避難行動要支援者名簿の作成 ・町内会、自主防災会、民生委員・児童委員、地区福祉会等地域の関係機関等との情報の共有	福祉総務課	【実績】 ・令和6年度避難行動要支援者名簿を作成し、地域の関係機関等と情報共有をした。 【評価】 ・地域における災害に対する懇談会等に活用されており、避難支援について考える一助となっている。 ・町内会長や自主防災会長等の地域関係者が短期間で交代することにより、地域における名簿情報の引継ぎや制度理解に課題がある。また、郵送調査時に意思表示のない対象者が存在することも課題である。そのため、ガイドブックの改定、配付を通じた継続的な制度周知に努めていく。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
58	70	緊急告知FMラジオの配備	緊急時には自動的に電源が入り、避難情報等を伝達できる緊急告知FMラジオを町内会、民生委員・児童委員、福祉施設、避難行動要支援者等へ配備	危機管理防災本部	【実績】 - 希望があった避難行動要支援者に対して、ラジオを貸与した。(新規貸与数 149台) - 市が貸与したラジオの故障や不具合に対する交換対応等を実施した。 【評価】 - 町内会や避難行動要支援者等に対して、避難情報など災害時の情報伝達が可能となった。 - 今後も貸与希望調査等を行い、必要な方への配備を進める。
59	70	避難情報等電話配信サービスの提供	市が「避難情報」及び「信濃川早期警戒情報」を発令する際に、事前に登録された電話に音声メッセージでお知らせ ・一般家庭（登録制） 防災行政無線の戸別受信機、又は緊急告知FMラジオが貸与されていない世帯の携帯電話やスマートフォンを所有していない満65歳以上の高齢者 ・要配慮者利用施設 ・社会福祉施設等 ・町内会、民生委員	危機管理防災本部	【実績】 ・電話配信サービス利用希望者の登録を行った。(新規2名) 【評価】 ・携帯電話やスマートフォンを所有していない高齢者等について、災害時における情報伝達の手段を確立することができた。 ・今後も町内会長や民生委員を通じて必要な方に登録を促す。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
60	70	地域防災力の強化推進	自主防災活動に対する各種支援の実施 ・防災よろず相談窓口の設置 ・中越市民防災安全士の講師派遣 ・自主防災アドバイザーの派遣 ・活動報奨金の交付 など	危機管理防災本部	【実績】 ・年度当初に自主防災会長へ「自主防災会活動支援ガイド」を送付し、自主防災会の活動支援制度の活用を促進した。 ・各種支援の活用状況は以下のとおり（令和7年3月31日時点） ・防災よろず相談 →随時実施 ・中越市民防災安全士の講師派遣 →141回 ・自主防災アドバイザーの派遣 →8団体（上限）に対して派遣 ・活動報奨金の交付 →561団体／838団体 【評価】 ・各種支援制度の活用により、地域防災力の向上につながっている。 ・支援制度の見直しにあたり必要となる自主防災会の活動状況や要望などを把握する仕組みの構築を検討する。
61	70	中越市民防災安全大学	防災に関する専門的な知識や技術を学ぶ講座の実施	危機管理防災本部	【実績】 ・8月下旬から9月上旬までの6日間に24講座を開催し53名が中越市民防災安全士として認定された。 【評価】 ・地域の防災リーダーが育成され、地域防災力の向上につながった。 ・今後も継続して講座を実施する。

第7期長岡市障害者基本計画 令和6年度主要事業実施状況

資料No.1－1

整理 番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和6年度実績及び評価
62	70	高機能消防指令センターの充実	一般電話により高齢者、障害のある人等からの119番の通報場所が即時に判明でき、最も近い消防部隊を自動的に編成し、出動させるとともに、現場の地図及び避難行動要支援者の情報を把握	消防本部警防課	【実績】 ・119番通報が無言でも、通報場所に最も近い消防車及び救急車を出動させている。 ・令和4年7月1日からNet119緊急通報システムの運用を開始した。(令和7年3月31日現在123人登録) 【評価】 ・指令地図に通報場所のほか、避難行動要支援者情報を表示することで、対象者への災害対応がより迅速になった。 ・Net119緊急通報システムの導入により、聴覚障害者等からの通報が容易になった。 ・予防広報等の参加者が多いイベントに併せて広報活動を積極的に行っていきたい。
63	71	木造住宅耐震診断費助成	木造住宅に対する耐震診断費の助成	建築・開発審査課	【実績】 ・R6年度実績は74件である。4月の市政だよりでの広報の他に、2月にリフォームフェア参加などで周知活動を行った。 【評価】 ・R5年度に比べ件数は34件増加したが、耐震改修による耐震化が進まないため、今後も引き続き周知啓発の取組を行っていく。
64	71	木造住宅耐震改修費助成	木造住宅の耐震改修工事費の助成	建築・開発審査課	【実績】 R6年度実績は8件である。4月の市政だよりでの広報の他に、2月にリフォームフェア参加などで周知活動を行った。
65	71	木造住宅耐震改修設計及び工事監理費助成	木造住宅の耐震改修設計及び工事監理費の助成	建築・開発審査課	【評価】 ・R5年度に比べ件数は5件増加したが、耐震改修による耐震化が進まないため、今後も引き続き周知啓発の取組を行っていく。